

「第39回 全国青年の集い2025 in 山梨 健康経営大賞」

吉村アドバイザーフィードバックシート

吉村健佑氏：精神保健指定医・労働衛生コンサルタント・公認心理師・
千葉大学医学部附属病院 特任教授・産業医・
全法連青連協健康経営プロジェクトアドバイザー

対象：ファイナリスト青年部会・部会員企業

【青年部会】

(局連・県連)	良かった点・評価できるポイント	今後の取り組みに向けてのアドバイス
府中法人会 (広島・広島)	<p>血液が最も不足する2月に合わせて献血事業を実施し、地域内6つのライオンズクラブと連携した取り組みは、地域課題の解決と健康経営を結びつけた好事例です。社会的意義が高く、住民や医療従事者からの信頼と評価を得ている点が大きな強みです。</p> <p>「地域社会への直接的な貢献」と「企業の健康経営推進」を両立させた事例であり、特に献血という公共性の高いテーマを選んだことは、強いメッセージ性を持ち素晴らしいと思います。</p>	<p>今後はライオンズクラブとの連携にとどまらず、地域の学校、企業、行政へと協働の範囲を広げることで、多世代・多層の参加を得られ、活動の裾野を一層広げることが可能となります。</p> <p>さらに、健康経営宣言書を提出する企業が増えているため、次の段階としては具体的な施策への伴走支援、例えば、健康診断受診率の向上や運動習慣づくりなど、実践的な取り組みを企業と共に進めることで、成果が定着しやすくなります。</p>